

UserTool

「UserTool」 利用マニュアル初版

はじめに

本マニュアルはエンドユーザー向けに提供される「UserTool」（アカウント管理機能）の操作説明書となっております。

「UserTool」ではメールやウェブ、接続アカウントの情報確認と設定変更が可能となっております。

改訂履歴

改訂日	改訂内容	バージョン
2022/4/11	初版（ACCS）	1.0.0

目次

概略説明	4
ログイン方法	5
ログアウト方法	6
メールサービス	7
アドレス変更	8
パスワード変更	10
迷惑メールフィルター	13
高機能フィルター	14
迷惑メールフィルター	15
SPAM の判定基準について	16
フィルター強度の設定	17
ブラックリスト/ホワイトリスト	18
ユーザーフィルター設定	22
新規フィルターの追加	22
ユーザーフィルターの適用順の変更	27
ユーザーフィルターの編集と削除	27

概略説明

本マニュアルでは、一般的な機能に絞って「UserTool」の利用方法をご説明させていただきます。

サービス設定

サービス名	Sirius Internet Service	メールドメイン
メールサービス	提供	mail1.accsnet.ne.jp mail2.accsnet.ne.jp

サービス内容

基本 mailbox アカウント数	1 つ
エンドユーザーによるアカウントリネーム	許可

推奨ブラウザ

推奨ブラウザ	推奨バージョン	利用可能バージョン
Internet Explorer	10 以上	7 以上
Google Chrome	最新版	9.0 以上
Mozilla Firefox	最新版	4.0 以上
Safari	最新版	3.0 以上

セッションタイム

「UserTool」のセッション保持時間は『**30 分**』となっております。
何も操作しない状態で 30 分以上経過すると、再びログイン画面が表示されます。

ログイン方法

- (1) Web ブラウザで「https://tool.accsnet.ne.jp/mail/」を開きます。
- (2) 画面が開きましたら、発行済みの「メールアドレス」と「パスワード」を入力し、**[ログインする]**ボタンをクリックします。



このスクリーンショットは、UserTool ログイン画面の成功時の状態を示しています。画面の上部には「UserTool ログイン画面」というタイトルバーがあり、その下には「メールサービス」のタブがあります。中央には「メールアドレス」と「パスワード」の入力欄があり、その下には「ログインする」ボタンがあります。入力欄とボタンは赤い枠で囲まれています。

UserTool ログイン画面

メールサービス

「メールアドレス」と「パスワード」を入力し、「ログインする」ボタンをクリックしてください。

メールアドレス:

パスワード:

ログインする

- ◆ ログインに失敗した場合は下記のエラー画面が表示されます。
正しい「UserTool ログイン ID」と「パスワード」を入力し、ログインを行います。



このスクリーンショットは、UserTool ログイン画面の失敗時の状態を示しています。画面の上部には「UserTool ログイン画面」というタイトルバーがあり、その下には「メールサービス」のタブがあります。中央には「メールアドレス」と「パスワード」の入力欄があり、その下には「ログインする」ボタンがあります。入力欄とボタンは赤い枠で囲まれています。エラーメッセージ「正しいユーザー名またはパスワードを入力してください。」が、パスワードの入力欄の下に表示されています。

UserTool ログイン画面

メールサービス

「メールアドレス」と「パスワード」を入力し、「ログインする」ボタンをクリックしてください。

メールアドレス:

パスワード:

正しいユーザー名またはパスワードを入力してください。

ログインする

- ※ 「UserTool ログイン ID」は大文字と小文字を区別しませんが、
「パスワード」は大文字と小文字を区別しますので、ご注意ください。

ログアウト方法

(1) UserTool からログアウトするには、画面右上の「ログアウト」をクリックします。



(2) ログアウトが完了すると、ログイン画面が表示されます。



メールサービス

「メールサービス」タブをクリックする事で、メールサービスの設定画面が表示されます。

アカウント詳細/設定

(1) 「アカウント詳細/設定」画面は、以下の5つの部分から構成されています。

The screenshot shows the 'メールサービス' (Email Service) settings page for ACCSnet. The page has a header with the ACCSnet logo and a user email address '@mail2.accsnet.ne.jp'. Below the header, there's a green bar with 'ユーザーツール / メールサービス' and a link to 'インフォメーションに戻る'. The main content area is divided into several sections, each highlighted with a red box and a number:

- (1) Email address section: Shows the current email address '@mail2.accsnet.ne.jp' and a button to change it. Below the button, there's a note: '3～64文字の半角英数字、記号（ハイフン「-」、アンダーバー「_」、ドット「.」）で入力してください。英字は小文字で入力してください。' (Please enter 3 to 64 alphanumeric characters and symbols (hyphen, underscore, dot). Please use lowercase letters.)
- (2) Mailbox settings section: Shows the mailbox type 'mailbox', the password field with '初期化' (Reset) and '変更' (Change) buttons, and a note: '6～128文字の半角英数字、記号（「.」、「-」、「_」、「@」、「\$」、「;」、「:」、「^」、「{」、「}」、「|」）で入力してください。英字の大文字と小文字は区別されます。' (Please enter 6 to 128 alphanumeric characters and symbols (period, hyphen, underscore, at, dollar, semicolon, colon, caret, brace, pipe). Please distinguish between uppercase and lowercase letters.)
- (3)迷惑メールフィルター (Spam filter) section: Shows a toggle switch for '迷惑メールフィルター' (Spam filter) set to 'OFF'.
- (4) ユーザーフィルター (User filter) section: Shows a button to add a new filter and a note: '現在は何も設定されていません。' (Nothing is currently set.)
- (5) 保存する (Save) button: A button to save the settings.

(1)	現在の操作対象のメールアドレスが表示されます。 「アドレス変更」の項目で、メールアドレスの変更(リネーム)も行えます。
(2)	メールボックスの利用状況とパスワード(初期パスワード)、フィルタータイプが表示されます。 「パスワード」の項目で、パスワードの変更が行えます。 フィルタータイプには、「高機能フィルター」と「標準フィルター」のどちらかが表示されます。
(3)	迷惑メールフィルターの設定項目です。 フィルタータイプが標準フィルターの場合は、ON/OFFのみとなりますが、高機能フィルターの場合はONにする事でフィルター強度、ブラックリスト、ホワイトリストの設定項目が表示されます。
(4)	ユーザーフィルターの設定項目です。 ユーザーフィルターでは受信メールの仕分けルールを任意の条件で設定する事が可能です。 [新規フィルターの追加]ボタンを押すと、設定画面が表示されます。
(5)	[保存する]ボタン：設定した条件を保存する際に使用します。

アドレス変更

アドレス変更機能で、メールアドレス(mailbox アカウント)をリネームする事ができます。

※一度リネームしたアカウントの再リネーム禁止期間は1日です。

- (1) アカウント詳細/設定画面の、「アドレス変更」の入力欄に新しいメールアドレスを入力し、**[変更する]**ボタンをクリックします。

メールアドレス: @mail2.accsnet.ne.jp [ログアウト](#)

メールサービス

ユーザーツール / メールサービス [インフォメーションに戻る](#)

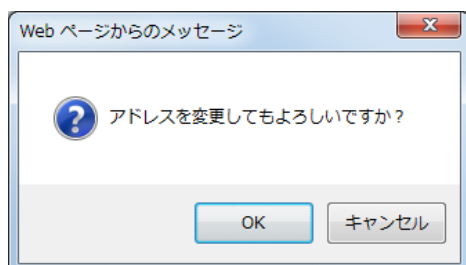
メールアドレス	@mail2.accsnet.ne.jp	アドレス変更	@ mail2.accsnet.ne.jp 変更する 3～64文字の半角英数字、記号（ハイフン「-」、アンダーバー「_」、ドット「.」）で入力してください。 英字は小文字で入力してください。
タイプ	mailbox	パスワード	初期化 変更 6～128文字の半角英数字、記号（「.」、「-」、「_」、「@」、「\$」、「;」、「:」、「^」、「{」、「}」、「 」）で入力してください。 英字の大文字と小文字は区別されます。
区分	メイン	初期パスワード	
メールボックス容量	1GB	フィルタータイプ	高機能フィルター
使用量/使用率	46KB 0%		
メール数	10通		

迷惑メールフィルター ☐ ON ☒ OFF

ユーザーフィルター 現在は何も設定されていません。

- (2) 確認メッセージが表示されます。

変更する場合は**[OK]**、変更をやめる場合は**[キャンセル]**ボタンをクリックします。



- (3) 変更が完了すると、「メールアドレス」欄に変更後のメールアドレスが表示されます。

■アドレス変更失敗ケース 1：既に同じメールアドレスが存在している

既に同じメールアドレスが存在している場合は、下図のメッセージが表示されます。
別のメールアドレスを再入力して、[変更する]ボタンを押してください。

以下の入力エラーを修正してください。

- ・「XXXXXXXXXX」がすでに存在しています。

■アドレス変更失敗ケース 2：新しいメールアドレスが 2 文字以下

新しいメールアドレスが短すぎる(2 文字以下)場合は、下図のメッセージが表示されます。
3 文字以上でメールアドレスを再入力して、[変更する]ボタンを押してください。

以下の入力エラーを修正してください。

- ・メールアドレス が短過ぎます(3 文字以上で入力してください)。

■アドレス変更失敗ケース 3：新しいメールアドレスに非対応文字を使用

新しいアドレスに不適切な文字列を使用した場合は、下図のメッセージが表示されます。
使用できない文字を入力していないかを確認し、再入力します。

※メールアドレスで利用出来る文字は半角小文字の a~z、0~9、_、-、.、となっております。

以下の入力エラーを修正してください。

- ・メールアドレスは、半角英数小文字で適切な文字列を入力してください。

パスワード変更

パスワード変更機能で、パスワードの変更と初期化が行えます。

(1) アカウント詳細/設定画面の、「パスワード」の入力欄に新しいパスワードを入力し、[変更] ボタンをクリックします。



The screenshot shows the 'メールサービス' (Mail Service) settings page. The 'パスワード' (Password) field is highlighted with a red box. The '変更' (Change) button is visible next to the password field.

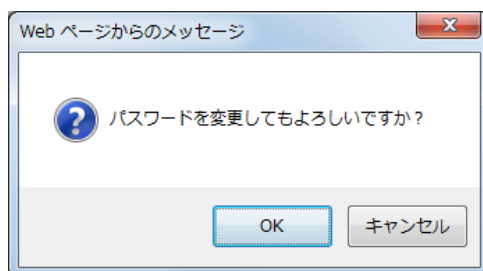
メールアドレス	@mail2.accsnet.ne.jp	アドレス変更	@ mail2.accsnet.ne.jp 変更する 3～64文字の半角英数字、記号（ハイフン「-」、アンダーバー「_」、ドット「.」）で入力してください。 英字は小文字で入力してください。
タイプ	mailbox	パスワード	初期化 変更 6～128文字の半角英数字、記号（「.」、「-」、「_」、「@」、「\$」、「;」、「:」、「^」、「{」、「}」、「/」）で入力してください。 英字の大文字と小文字は区別されます。
区分	メイン	初期パスワード	
メールボックス容量	1GB	フィルタータイプ	高機能フィルター
使用量/使用率	46KB 0%		
メール数	10通		

迷惑メールフィルター ☐ ON ☒ OFF

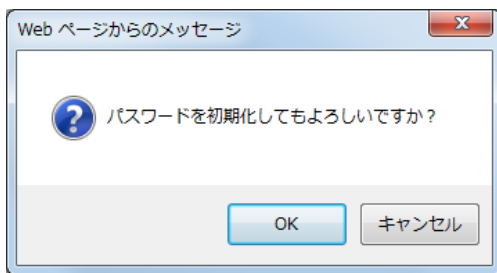
ユーザーフィルター 現在は何も設定されていません。

(2) 確認メッセージが表示されます。

変更する場合は[OK]、変更をやめる場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。



- ★[初期化] ボタンを押した際には、入力欄の内容に関わらず、初期設定のパスワードに変更されます。
その際には、下図のような確認メッセージが表示されます。



■パスワード変更失敗ケース 1：新しいパスワードが 5 文字以下

新しいパスワードが短過ぎる（5 文字以下）場合は、下図のメッセージが表示されます。
6 文字以上で正しいパスワードを再入力して、[変更]ボタンを押してください。

以下の入力エラーを修正してください。

- パスワード が短過ぎます (6 文字以上で入力してください)。

■パスワード変更失敗ケース 2：新しいパスワードに非対応文字を使用

新しいパスワードに不適切な文字列を入力した場合は、下図のメッセージが表示されます。
使用できない文字を入力していないかを確認し、正しいパスワードを再入力します。
※パスワードで利用出来る文字は、半角、a～z、A～Z、0～9、_、-、\$、@、:、;、^、{、}、/、です。

以下の入力エラーを修正してください。

- パスワードは、半角英数字で適切な文字列を入力してください。

■パスワード変更失敗ケース 3：新しいパスワードがメールアドレスと同じ文字列

パスワードがメールアドレスと同じ場合は、下図のメッセージが表示されます。
メールアドレスとは異なるパスワードを入力し、[変更]ボタンを押してください。

以下の入力エラーを修正してください。

- 新しいパスワードは、アカウントと同じ文字列で設定できません。

迷惑メールフィルター

迷惑メールフィルターは、メールヘッダに「X-Spam-Flag: YES」の SPAM スタンプが押されたメールを迷惑メールフォルダに自動で移動する機能になります。

※X-Spam-Flag につきましては、[SPAM の判定基準について]をご参照ください。

※迷惑メールフィルターの初期設定は、プラン設定のデフォルト値に従って ON/OFF が設定されます。

※迷惑メールフォルダへ格納されたメールはメールソフトではダウンロードされません。

迷惑メールフォルダ内のメールは、Webmail もしくは IMAP 接続で確認していただく必要があります。

また、迷惑メールフォルダ内のメールは受信から 30 日後に削除される仕様となっております。

迷惑メールフィルターの ON/OFF

- (1) 設定を変更するには、迷惑メールフィルターの項目の ON(OFF)にチェックを入れ、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

迷惑メールフィルター	☒ ON ☐ OFF
------------	---

- (2) 設定が完了すると、設定した旨のメッセージが表示されます。


メールアドレス: @mail2.accsnet.ne.jp [ログアウト](#)

メールサービス

ユーザーツール / メールサービス インフォメーションに戻る

☒ メールアカウント(@mail2.accsnet.ne.jp)を変更しました。

メールアドレス	@mail2.accsnet.ne.jp	アドレス変更	@ mail2.accsnet.ne.jp 変更する 3～64文字の半角英数字、記号（ハイフン「-」、アンダーバー「_」、ドット「.」）で入力してください。 英字は小文字で入力してください。
タイプ	mailbox	パスワード	初期化 変更 6～128文字の半角英数字、記号（「_」、「-」、「\$」、「;」、「:」、「^」、「{」、「}」、「/」）で入力してください。 英字の大文字と小文字は区別されます。
区分	メイン	初期パスワード	
メールボックス容量	1GB	フィルタータイプ	高機能フィルター
使用量/使用率	46KB 0%		
メール数	10通		

高機能フィルター

高機能フィルターでは、詳細かつ複雑な設定を行う事が可能です。

設定項目は、「迷惑メールフィルター」と「ユーザーフィルター」の2つがあります。

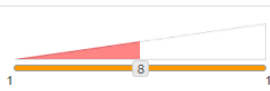

メールアドレス: @mail2.accsnet.ne.jp [ログアウト](#)

メールサービス

ユーザーツール / メールサービス
インフォメーションに戻る

メールアドレス	@mail2.accsnet.ne.jp	アドレス変更	mail2.accsnet.ne.jp @ 3～64文字の半角英数字、記号（ハイフン「-」、アンダーバー「_」、ドット「.」）で入力してください。英字は小文字で入力してください。 変更する
タイプ	mailbox	パスワード	 初期化 変更 6～128文字の半角英数字、記号（「!」、「@」、「\$」、「:」、「;」、「^」、「{」、「}」、「/」）で入力してください。英字の欧文と小文字は区別されます。
区分	メイン	初期パスワード	
メールボックス容量	1GB	フィルタータイプ	高機能フィルター
使用量/使用率	46KB 0%		
メール数	10通		

迷惑メールフィルター
☒ ON ☐ OFF

フィルター強度


フィルター強度は15段階で設定することができます。通常は8～12の範囲内での調整を推奨します。
【設定参考値】
1～7: 弱い (あまやかな迷惑メールを対象とします)
8～12: 普通 (推奨設定値)
13～15: 強い (通常のメールが対象となる可能性も高くなります)

ブラックリスト

下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフォルダへ隔離されます。

ホワイトリスト

下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフィルターやブラックリストより優先して、通常メールとして処理されます。

ユーザーフィルター

現在は何も設定されていません。

迷惑メールフィルター	高機能フィルターでは、フィルター強度設定(15段階)やブラックリスト、ホワイトリストの設定が可能となっております。
ユーザーフィルター	ユーザーフィルターでは、受信したメールの送信者や件名、サイズなど詳細な条件を指定し、転送、バケーションメールの他に移動、コピー、破棄、削除など多彩な処理が設定可能です。 また、複合条件や処理を行う時間を設定する事も可能となっております。

迷惑メールフィルター

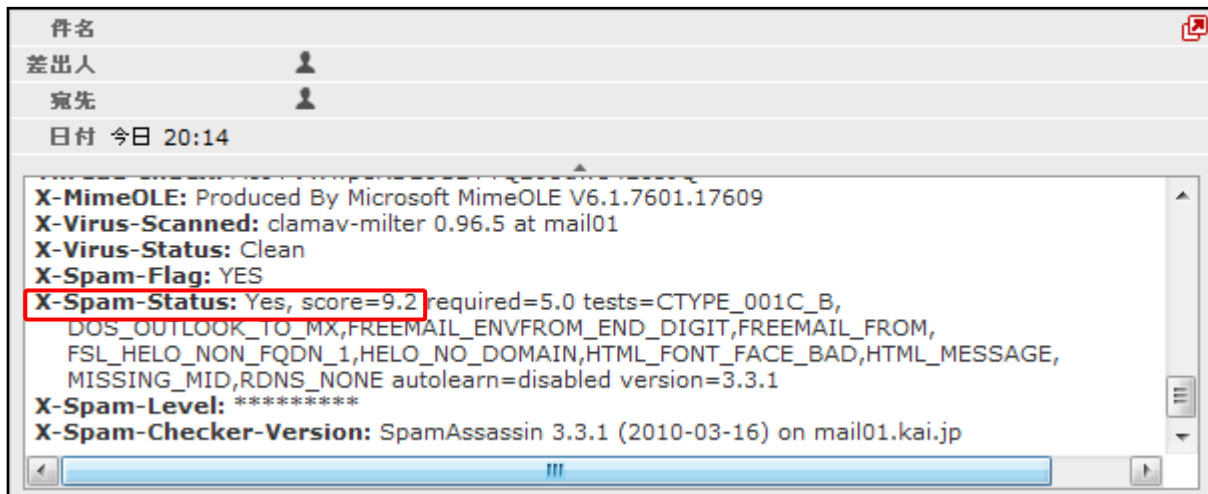
迷惑メールフィルターが OFF の場合、受信メールのヘッダー部分の Score を判断せず、全部受信トレイに格納されます。

迷惑メールフィルターが ON の場合、高機能フィルターの迷惑メールフィルターでは、フィルターの強度設定(15 段階)、ブラックリスト/ホワイトリストの作成が可能となっております。

迷惑メールフィルターが ON の場合、下記の条件に合致したメールが SPAM 判定され、迷惑メールフォルダに格納されます。

- ・ブラックリストに設定されている条件に合致している
- ・メールヘッダの「X-Spam-Status」の score が設定したフィルター強度以上の場合
- ・フィルタ強度が最弱でホワイトリスト/ブラックリストに設定なし、Score が 15 以上と判定されている場合

※ホワイトリスト/ブラックリストの詳細説明は「アカウント設定情報の確認と設定変更>mailbox アカウント設定>ブラックリスト/ホワイトリスト」をご参照ください。



SPAM の判定基準について

本機能では二次フィルタに実装している SpamAssassin にて SPAM 判定を行っています。

SpamAssassin が SPAM 判定基準としている要素はメールヘッダから確認が可能です。

X-Spam-Status	メール内の SPAM 要素を Score として数字で表示します。 X-Spam-Status: Yes, score=9.2 required=5.0 tests=CTYPE_001C_B, DOS_OUTLOOK_TO_MX,FREEMAIL_ENVFROM_END_DIGIT,FREEMAIL_FROM, FSL_HELO_NON_FQDN_1,HELO_NO_DOMAIN,HTML_FONT_FACE_BAD,HTML_MESSAGE, MISSING_MID,RDNS_NONE autolearn=disabled version=3.3.1 上記例では Score は 9.2 という事になります。 Score 以降の記述は、加点要素が記載されています。
X-Spam-Level	X-Spam-Status の Score が 1.0 以上の場合に表示されます。 X-Spam-Level: ***** Score の数字は『*』を使って 1 単位ずつ表示されます。 例) score=3.9 の時には「***」星 3 つ、score=5.1 の時には「*****」星 5 つ ※高機能フィルタ利用時にはこのヘッダ情報を元に、迷惑メールフォルダにフィルタリングされます。
X-Spam-Flag	X-Spam-Status の Score が 5.0 以上の場合に表示されます。 X-Spam-Flag: YES と表示されます。 また、Score が 5.0 以上の場合は SPAM としてフラグが立ちます。 ※標準フィルタ利用時にはこのヘッダ情報を元に、迷惑メールフォルダにフィルタリングされます。

フィルター強度の設定

強度は、最弱(X-Spam-Status の Score が 15 以上)～最強(1 以上)の 15 段階で調整可能です。
設定強度以上の Score のメールを受信した場合に迷惑メールフォルダにメールが格納されます。

(1) 迷惑メールフィルターの項目の ON にチェックを入れます。

迷惑メールフィルター ☒ ON ☐ OFF

フィルター強度

1 9 15

フィルター強度は15段階で設定することができます。
通常は8～12の範囲内での調整を推奨します。

【設定参考値】
1～7：弱い (あきらかな迷惑メールを対象とします)
8～12：普通 (推奨設定値)
13～15：強い (通常のメールが対象となる可能性も高くなります)

ブラックリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフォルダへ隔離されます。
新規条件の追加

ホワイトリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフィルターやブラックリストより優先して、通常メールとして処理されます。
新規条件の追加

(2) フィルター強度欄内のスライダーを任意の場所にドラッグ操作で調整します。

1 (弱)～15(強)の 15 段階で設定が可能です。スライダーに現在の強度が表示されます。

1 が最弱設定 15 が最強設定

フィルター強度

1 9 15

フィルター強度は15段階で設定することができます。
通常は8～12の範囲内での調整を推奨します。

【設定参考値】
1～7：弱い (あきらかな迷惑メールを対象とします)
8～12：普通 (推奨設定値)
13～15：強い (通常のメールが対象となる可能性も高くなります)

※最強設定にした場合、通常のメールも SPAM として判定される可能性がある為、ご注意ください。

あわせてホワイトリスト機能も設定していただく事をお勧めします。

(3) 設定後、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

迷惑メールフィルター ☒ ON ☐ OFF

フィルター強度

1 9 15

フィルター強度は15段階で設定することができます。
通常は8～12の範囲内での調整を推奨します。

【設定参考値】
1～7：弱い (あきらかな迷惑メールを対象とします)
8～12：普通 (推奨設定値)
13～15：強い (通常のメールが対象となる可能性も高くなります)

ブラックリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフォルダへ隔離されます。
新規条件の追加

ホワイトリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフィルターやブラックリストより優先して、通常メールとして処理されます。
新規条件の追加

ユーザーフィルター 現在は何も設定されていません。
新規フィルターの追加

保存する キャンセル

ブラックリスト/ホワイトリスト

それぞれ、受信拒否 / 許可の設定を行う機能になります。

ブラックリストに登録した条件に合致するメールは迷惑メールフォルダへ、ホワイトリストに登録した条件に合致メールは受信トレイフォルダに移動します。

※ブラックリストとホワイトリストで重複した条件が設定されている場合は、
ホワイトリストのルールが優先されます。

迷惑メールフィルター ☒ ON ☐ OFF

フィルター強度

フィルター強度は15段階で設定することができます。
通常は8～12の範囲内での調整を推奨します。

【設定参考値】
1～7：弱い（あきらかな迷惑メールを対象とします）
8～12：普通（推奨設定値）
13～15：強い（通常のメールが対象となる可能性も高くなります）

ブラックリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフォルダへ隔離されます。

新規条件の追加

ホワイトリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフィルターやブラックリストより優先して、通常メールとして処理されます。

新規条件の追加

ユーザーフィルター 現在は何も設定されていません。

新規フィルターの追加

保存する キャンセル

ブラックリスト/ホワイトリストの設定方法

(1) 迷惑メールフィルターの項目の ON にチェックを入れ、

ブラックリスト、またはホワイトリストの項目にある、[新規条件の追加] ボタンをクリックします。

迷惑メールフィルター ☒ ON ☐ OFF

フィルター強度

フィルター強度は15段階で設定することができます。
通常は8～12の範囲内での調整を推奨します。

【設定参考値】
1～7：弱い（あきらかな迷惑メールを対象とします）
8～12：普通（推奨設定値）
13～15：強い（通常のメールが対象となる可能性も高くなります）

ブラックリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフォルダへ隔離されます。

新規条件の追加

ホワイトリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフィルターやブラックリストより優先して、通常メールとして処理されます。

新規条件の追加

ユーザーフィルター 現在は何も設定されていません。

新規フィルターの追加

保存する キャンセル

- (2) 設定画面で条件を設定します。新しく条件を追加するには、[新規条件の追加] ボタン、
条件を削除する場合は、[条件の削除] ボタンをクリックします。

ブラックリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフォルダへ隔離されます。

送信者(from)が		を含む	条件の削除
送信者(from)が		を含む	
受信者(to, cc)が		含まない	
件名(subject)が		と一致する	
本文(body)が		と一致しない	
メールヘッダー(header)が		存在する	
メールサイズが		存在しない	

新規条件の追加

条件の設定画面は選択したメニューにより、3つのパターンに変化します。

- ◆パターン1：「送信者(from)、受信者(to, cc)、件名(Subject)、本文(body)が」を選択した場合

(1) (2) (3)

送信者(from)が		を含む	条件の削除
送信者(from)が		を含む	
受信者(to, cc)が		含まない	
件名(subject)が		と一致する	
本文(body)が		と一致しない	
		存在する	
		存在しない	

(1)	送信者(from)が	条件にメールの送信者(from)を指定する場合に選択します。
	受信者(to, cc)	条件にメールの受信者(to, cc)を指定する場合に選択します。
	件名(Subject)	条件にメールの件名(Subject)を指定する場合に選択します。
	本文(body)	条件にメール本文(body)を指定する場合に選択します。
(2)	条件となる、メールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)を入力します。	
(3)	を含む	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が 含まれている場合に動作します。 ※含む/含まないは、部分一致を意味します。
	含まない	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が 含まれていない場合に動作します。
	と一致する	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が 一致する場合に動作します。 ※一致する/しない設定は、条件の完全一致を意味します。 例えば、『From が』『sample@mail2. accsnet. ne. jp』と『一致する』いう設定をして も、 実際に送られて来たメールヘッダのFrom が、 『"ACCS サンプル" <sample@ mail2. accsnet. ne. jp > 』となっている場合には、 一致とは判定されない為、フィルター設定は動作しません。
	と一致しない	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が 一致しない場合に動作します。
	存在する	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が 存在する場合に動作します。 ※存在する/しないは、header 情報の有無を確認する項目となります。 例) 「From:」 「To:」 「Cc:」 「Subject:」 のヘッダが存在するかないかを判断しま す。 ※『本文 (body)』設定はメールヘッダに『body:』というヘッダがそもそも存在し ない為、設定しても動作いたしません。
	存在しない	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が 存在しない場合に動作します。

◆パターン 2 : 「メールヘッダー (header) が」 を選択した場合。

(1) (2) (3) (4)

メールヘッダー (header) が を含む

を含む
含まない
と一致する
と一致しない
存在する
存在しない

(1)	メールヘッダー (header) が	条件にメールヘッダー (header) を指定する場合に選択します。
(2)	条件となる、header を入力します。header はメール画面から確認できます。 【入力例】 From(送信者) が、sample01@ mail2. accsnet. ne. jp を含む場合 この場合は「From」と入力します。	メールヘッダー (header) が From Sample01@ mail2. accsnet. ne. jp を含む 条件の削除
(3)	(2) で入力した header の詳細条件を入力します。 【入力例】 From(差出人) が、sample01@ mail2. accsnet. ne. jp を含む場合 この場合は「sample01@ mail2. accsnet. ne. jp」と入力します。	メールヘッダー (header) が From Sample01@ mail2. accsnet. ne. jp を含む 条件の削除
(4)	を含む	(2) と (3) で入力した、header 情報が含まれている場合に動作します。 ※含む/含まないは、部分一致を意味します。
	含まない	(2) と (3) で入力した header 情報が含まれていない場合に動作します。
	と一致する	(2) と (3) で入力した header 情報が一致する場合に動作します。 ※一致する/しないは、完全一致を意味します。
	と一致しない	(2) と (3) で入力した header 情報のいずれかが一致しない場合に動作します。
	存在する	入力した header 情報が存在する場合に動作します。 ※存在する/しないは、header 情報の有無を確認する項目となります。 例) 「From:」 「To:」 「Cc:」 「Subject:」 等のヘッダが存在するかしないかを判断します。 ※こちらの項目を選択した際には項目が変化します。 メールヘッダー (header) が 存在する 条件の削除 存在する 存在しない
	存在しない	入力した header 情報が存在しない場合に動作します。

◆パターン3：「メールサイズが」を選択した場合。

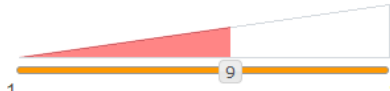
(1) メールサイズが (2) (3) ☐ バイト ☒ KB ☐ MB ☐ GB 以上の時 以上の時 以下の時 条件の削除

(1)	メールサイズが	条件にメールサイズを指定する場合に選択します。
(2)	(3)で選択する単位に応じた数値を入力します。	
(3)	メールサイズの単位を選択します。 バイト～GB、設定した数値以上 / 以下の設定が行えます。	

(3)設定後、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

迷惑メールフィルター ☒ ON ☐ OFF

フィルター強度



フィルター強度は15段階で設定することができます。
通常は8～12の範囲内での調整を推奨します。

【設定参考値】
1～7：弱い（あきらかな迷惑メールを対象とします）
8～12：普通（推奨設定値）
13～15：強い（通常のメールが対象となる可能性も高くなります）

ブラックリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフォルダへ隔離されます。

送信者（from）が を含む

ホワイトリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフィルターやブラックリストより優先して、通常メールとして処理されます。

件名（subject）が を含む

送信者（from）が と一致する

ユーザーフィルター 現在は何も設定されていません。

ユーザーフィルター設定

ユーザーフィルター設定では、任意の仕分けルールと処理内容でフィルター設定が作成可能です。受信したメールの送信者や件名、サイズなど複合的な詳細な条件を元に、転送、バケーションメールの他にメールの移動、コピー、破棄、削除など複数の処理が設定可能です。

※迷惑メールフィルターを通過していないメール(SPAM 判定されていない)はユーザーフィルターが適用されません。

新規フィルターの追加

- (1) ユーザーフィルター項目にある、[新規フィルターの追加] ボタンをクリックします。
ユーザーフィルターの新規作成画面が表示されます。



(2) フィルターの名前欄に、任意のフィルター名を入力します。

フィルターの名前	
----------	----------------------

(3) ルールの適用条件を設定します。新しく条件を追加するには、[新規条件の追加]、または[追加]ボタン、設定した条件を削除する場合は、[削除]ボタンをクリックします。

ルールの適用条件 (1) ☒ 以下のルールのいずれかに一致 ☐ 以下のルールの全てに一致 ☐ 全てのメールに適用		
送信者(from)が 送信者(from)が 受信者(to, cc)が 件名(subject)が 本文(body)が メールヘッダー(header)が メールサイズが	(2)	を含む を含む を含まない と一致する と一致しない 存在する 存在しない
追加 削除		
新規条件の追加		

(1)	以下のルールのいずれかに一致	設定した条件のいずれかに一致した場合に、処理が実行されます。 (or 条件の指定になります)
	以下のルールの全てに一致	設定した条件の全てに一致した場合に、処理が実行されます。 (and 条件の指定になります)
	全てのメールに適用	全てのメールで処理が実行されます。 (こちらを選択すると、適用条件設定項目が非表示となり、受信した全てのメールに処理が適用されます。)
(2)	適用条件設定項目はブラックリスト/ホワイトリストと同じ仕様となります。 設定の詳細については[ブラックリスト/ホワイトリスト]をご参照ください。	

(4) 設定したルールの適用時間を設定します。

「常時」または「時間指定」にチェックを入れて 0～23 時の間で時間を指定します。

※時間指定の場合は、終了時刻を開始時刻より大きい数字で設定してください。

ルールの適用時間	☒ 常時 ☐ 時間指定 0 時台 ~ 0 時台までの間 (終了時刻は開始時刻より大きい数字を設定して下さい)
※ [9]時台～[17]時台と設定した場合は、9時00分00秒～17時59分59秒までが対象時間となります。 ※ 21時台～8時台と言う様な日付をまたぐ時間指定をしたい場合は、21時～23時のフィルタと0時～8時のフィルタを2つ設定して下さい。	

※ [9]時台～[17]時台と設定した場合は、9時00分00秒～17時59分59秒までが対象時間となります。

※ 21時台～8時台と言う様な日付をまたぐ時間指定をしたい場合は、21時～23時のフィルターと0時～8時のフィルターを2つ設定して下さい。

(5) 実行する処理の内容を設定します。処理の設定は、複数設定する事が可能となっております。

新しく条件を追加するには、[新規条件の追加]、または[追加]ボタン、設定した条件を削除する場合は、[削除]ボタンをクリックします。

実行する処理の内容	
上記の適用条件と適用時間に合致したメールの処理内容を設定します。	
次のフォルダにメールを移動する 次のフォルダにメールを移動する 次のフォルダにメールをコピーする 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない) 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残す) メールを破棄する バケーションメールを送信する メールを削除する ルール評価を停止する	迷惑メール 迷惑メール 受信トレイ
追加 削除	
新規条件の追加	

実行する処理の内容画面は、選択したメニューにより、5つのパターンに変化します。

◆パターン1：次のフォルダにメールを移動する、次のフォルダにメールをコピーする

(1)

次のフォルダにメールを移動する

次のフォルダにメールを移動する

次のフォルダにメールをコピーする

(2)

受信トレイ

受信トレイ

下書き

送信済みアイテム

迷惑メール

ごみ箱

保存フォルダー

追加

削除

(1)	次のフォルダにメールを移動する	条件に該当したメールを指定したフォルダに移動します。
	次のフォルダにメールをコピーする	条件に該当したメールを指定したフォルダにコピーします。
(2)	選択したフォルダに(1)で設定した処理が実行されます。	
	※初期フォルダは、ウェブメールにログインした際に自動作成されます。 ※初期フォルダには「受信トレイ」「下書き」「送信済みアイテム」「迷惑メール」「ごみ箱」「保存フォルダ」の6つのフォルダがありますが、ユーザーが自分で作成したフォルダがある場合はここの一覧に表示されます。	

◆パターン2：次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない / 残す)

(1)

次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない)

次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない)

次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残す)

(2)

追加

削除

(1)	次のアドレスにメールを転送する (転送後サーバーに残さない)	条件に該当したメールを転送します。 転送したメールはサーバーから削除します。 ※転送したメールはごみ箱には入らず、サーバーから削除されますのでご注意ください。
	次のアドレスにメールを転送する (転送後サーバーに残す)	条件に該当したメールを転送します。 転送したメールをサーバーに残す設定です
(2)	転送するメールの送り先のメールアドレスを入力します。	

◆パターン3：メールを破棄する

(1) (2)

メールを破棄する

(1)	メールを破棄する	条件に該当したメールはサーバーから削除され、サーバーから差出人に送信不能の旨のメッセージが送信されます。 ※メールはごみ箱には入らず、サーバーから削除されますのでご注意ください。
(2)	差出人に対して送信するメッセージを入力します。未入力でも問題ありません。 ※差出人に送信されるメールのサンプル 差出人: Mail Delivery Subsystem 宛先: 件名: Automatically rejected mail 日時: Wed, 02 May 2012 16:04:26 +0900 Your message to was automatically rejected: この部分に、(2)で設定したメッセージが表示されます。	

◆パターン4：バケーションメールを送信する

(1)

(2)

本文

件名

受信者

返送禁止期間 日

(1)	バケーションメールを送信する	条件に該当したメールにバケーションメールを送信します。バケーションメールは、休暇中などのメール返信が出来ない期間に、設定したメッセージを自動返信する機能です。
(2)	本文	自動返信するメールの本文を入力します。
	件名	自動返信するメールの件名を入力します。 ※件名は半角 70 文字、全角 15 文字以内の入力制限があります。
	受信者	メールアドレスを入力します。 入力したメールアドレス宛てのメールを受信した際にバケーションメールが送信されます。
	返送禁止期間	1 度送った相手に再送を行わないよう期間を設定します。 1～90 日の間で半角の数字を入力します。

◆パターン5：メールを削除する、ルール評価を停止する

メールを削除する	追加	削除
メールを削除する		
ルール評価を停止する		

メールを削除する	条件に該当したメールをサーバーから削除します。 ※メールはごみ箱には入らず、サーバーから削除されますのでご注意ください。												
ルール評価を停止する	※複数のフィルター設定がある場合、上から順に適用されますが、ルール評価の停止ルールに合致したメールには、それ以下のフィルターの設定は実行されなくなります。 【設定例】 下図のようにユーザーフィルターを3つ設定している場合にユーザーフィルター2で『ルール評価を停止する』を設定していると以後のユーザーフィルター3が実行されなくなります。 ユーザーフィルター2に『ルール評価を停止する』設定がある状態。 <table><thead><tr><th>フィルター名</th><th>フィルターの編集/削除</th><th>フィルターの適用順の変更</th></tr></thead><tbody><tr><td>ユーザーフィルター1</td><td> 編集する 削除する </td><td> 優先度を上げる 優先度を下げる </td></tr><tr><td>ユーザーフィルター2</td><td> 編集する 削除する </td><td> 優先度を上げる 優先度を下げる </td></tr><tr><td>ユーザーフィルター3</td><td> 編集する 削除する </td><td> 優先度を上げる 優先度を下げる </td></tr></tbody></table> 『ルール評価の停止』のフィルター設定以下はフィルター設定が実行されません。	フィルター名	フィルターの編集/削除	フィルターの適用順の変更	ユーザーフィルター1	編集する 削除する	優先度を上げる 優先度を下げる	ユーザーフィルター2	編集する 削除する	優先度を上げる 優先度を下げる	ユーザーフィルター3	編集する 削除する	優先度を上げる 優先度を下げる
フィルター名	フィルターの編集/削除	フィルターの適用順の変更											
ユーザーフィルター1	編集する 削除する	優先度を上げる 優先度を下げる											
ユーザーフィルター2	編集する 削除する	優先度を上げる 優先度を下げる											
ユーザーフィルター3	編集する 削除する	優先度を上げる 優先度を下げる											

(6) 設定後、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

ユーザーツール / メールサービス	インフォメーションに戻る
-------------------	--------------

ユーザーフィルターの新規作成

フィルターの名前

ユーザーフィルター1

ルールの適用条件

☒ 以下のルールのいずれかに一致
 ☐ 以下のルールの全てに一致
 ☐ 全てのメールに適用

送信者 (from) が

sample02@mail2.accsnet.ne.jp

と一致する

追加

削除

新規条件の追加

ルールの適用時間

☒ 常時
 ☐ 時間指定
 0 時台 ~ 0 時台までの間
 (終了時刻は開始時刻より大きい数字を設定して下さい。)

※ [9]時台~[17]時台と設定した場合は、9時00分00秒~17時59分59秒までが対象時間となります。
 ※ 21時台~8時台と言う様な日付をまたぐ時間指定をしたい場合は、21時~23時のフィルタと0時~8時のフィルタを2つ設定して下さい。

実行する処理の内容

上記の適用条件と適用時間に合致したメールの処理内容を設定します。

次のフォルダにメールを移動する

保存フォルダー

追加

削除

新規条件の追加

保存する

キャンセル

ユーザーフィルターの適用順の変更

ユーザーフィルターは、上から順番に適用されます。

優先順位は、ユーザーフィルター画面右端の「優先度を上げる」、「優先度を下げる」で操作します。

優先度を上げる場合は、該当フィルター名の「優先度を上げる」、

下げる場合は、該当フィルター名の「優先度を下げる」をクリックします。

※『ルール評価を停止する』が設定されていると、そのフィルター以下の設定は適用されませんのでご注意ください。

設定後、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

ユーザーフィルター		ユーザーフィルターは、迷惑メールフィルターを通過したメールに適用されます。	
フィルター名	フィルターの編集/削除	フィルターの適用順の変更	
ユーザーフィルター1	編集する 削除する	↑ 優先度を上げる	↓ 優先度を下げる
ユーザーフィルター2	編集する 削除する	↑ 優先度を上げる	↓ 優先度を下げる
ユーザーフィルター3	編集する 削除する	↑ 優先度を上げる	↓ 優先度を下げる

新規フィルターの追加

ユーザーフィルターの編集と削除

設定したフィルター設定を編集したい場合は、該当フィルターの[編集する]ボタンをクリックします。

不要なフィルター設定を削除したい場合は、該当のフィルターの[削除する]ボタンをクリックし、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

※[保存する]ボタンをクリックしないと、削除されませんのでご注意ください。

ユーザーフィルター		ユーザーフィルターは、迷惑メールフィルターを通過したメールに適用されます。	
フィルター名	フィルターの編集/削除	フィルターの適用順の変更	
ユーザーフィルター1	編集する 削除する	↑ 優先度を上げる	↓ 優先度を下げる
ユーザーフィルター2	編集する 削除する	↑ 優先度を上げる	↓ 優先度を下げる
ユーザーフィルター3	編集する 削除する	↑ 優先度を上げる	↓ 優先度を下げる

新規フィルターの追加